

2022年12月9日

東洋精鋼株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、東洋精鋼株式会社（代表取締役社長 渡邊 吉弘）は、本商品にて証書貸付契約を締結いたしました。また、MUFG ESG 評価において、「B-」ランクを取得しました。

東洋精鋼株式会社は経営理念として「Challenge with Our Originality」を掲げ、常に独創性・先進性を追求し、時代の要求に合致した商品を開発することにより世界に必要とされる企業を目指してきました。世界経済が新型コロナウイルス感染症の危険に晒され、主要取引先である自動車業界は CASE 革命によって 100 年に一度の大変革時代に突入するなど、取り巻く環境が大きく変化しています。こうした不透明な情勢のなかでも常にお客様や市場に最善の製品とサービスを提供し成長を続けるべく、創業 50 周年を迎える 2025 年に向けて中期経営計画「Make Strong 2025」を策定し、特に SDG's を念頭に置いた基本戦略を掲げており、全社一丸となって取り組んでいます。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

ESG（サステナビリティ）全体：

- ✓ 環境方針を明確に公表し、トップマネジメント自ら関与し ESG 推進体制を構築している点
- ✓ 中期経営計画において、ESG すべての領域の取組に関するビジョンを策定している点

環境側面（E）：

- ✓ ISO14001 の外部認証を取得し、運用を外部に対して周知している点。また各部署・グループ単位の目標に落とし込まれて達成度合が人事評価に反映される仕組みを構築している点
- ✓ 環境法令の遵守を含むコンプライアンス方針を策定・公表している点

社会側面（S）：

- ✓ 専門家監督のもと適切に社則が運用されている点
- ✓ 毎月「顧客満足度調査」を実施し、評価結果に応じた改善計画を策定・運用している点

ガバナンス側面（G）：

- ✓ 経済・環境・社会影響に関する意思決定を行うすべての機関に最高責任者である社長を含むすべての常勤取締役が参加している点
- ✓ ESG 関連の目標・KPI 達成状況が、役員・社員の人事評価・報酬に反映されている点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上